

感染防止策チェックリスト

作成年月日 2022年 7月 27日

開催概要	本項目では、チェックリストを記入する前に、催物の情報をご入力ください。				
-------------	-------------------------------------	--	--	--	--

催物の名称	広島交響楽団金管メンバーによる サマーナイト・コンサート				
催物の概要	金管五重奏のコンサート				
開催日時	2022年 7月 30日 19時 00分 ～ 19時 40分				
開催場所	会場名	晴天時：えきマチ1丁目佐世保パティオ広場 雨天荒天時：佐世保市民文化ホール			
	住所	晴天時：長崎県佐世保市三浦町21-1 雨天荒天時：長崎県佐世保市平瀬町2			
収容定員	☒	300 ※市民文化ホールの場合	人	☒	収容定員なし ※えきマチの場合
適切と考える収容率 (上限)	☒	収容定員の100%以内 (大声なし) (※1) ※市民文化ホールの場合	☒	人と人とが触れ合わない 程度の間隔 ※えきマチの場合	
	☐	収容定員の50%以内 (大声あり) (※1)	☐	十分な人と人との間隔 (できるだけ2 m、最低1 m)	
参加人数	100名 (予定)				
出演者チーム等	広島交響楽団金管メンバー				
主催者	所 属	アルカスSASEBO	代表者役職・氏名		
	担当者役職・氏名		電話番号	0956-42-1111	
	E-MAIL				
	開催案内等 URL	https://www.arkas.or.jp/?a10=a10_46427			
参考とした業種別ガイドライン(※2)	https://www.arkas.or.jp/wp_arkas/wp-content/uploads/2022/07/4e9ecbae79cc0d884aae98229be5c3b7.pdf				
その他の 特記事項(※3)	鑑賞公演のため大声無しと判断 屋外で実施の場合はアナウンス及び配布プログラムにおいて感染対策を案内				

(※1)大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

(※2)掲載されているホームページのURLを記載してください。

(※3)大声なしの場合は、そう判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載してください。

感染防止策チェックリスト

基本的な 感染防止	イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。 ※5、000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。 ※下記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。
----------------------	---

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底	☒	【大声なしの場合】 飛沫が発生するおそれのある行為(※1)を抑制するため、適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用(※2)や大声（※3）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。 (※1) [飛沫が発生するおそれのある行為]には、大声での会話を誘発するような、大音量のBGMや応援なども含む。 (※2) [適切なマスクの正しい着用]については、厚生労働省HP「マスクの着用について」を参照。なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。 (※3) [大声]の定義を「客が、①通常よりもはるかに大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。
		【大声ありの場合】 「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。 ※大声を伴う可能性があるため収容率を50%とする場合でも、常に大声を出すことは飛沫防止の観点から望ましいものではないため、対策を徹底すること。
②手洗、手指・施設消毒の徹底	☒	こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）。
	☒	主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。
③換気の徹底	☒	機械換気による常時換気又は窓開け換気。 ※必要な換気量（一人当たり換気量30m3/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね1,000ppm以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的） ※機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け ※機械換気、窓開け換気ともに相対湿度の目安は40-70% ※屋外開催は除く

感染防止策チェックリスト

基本的な 感染防止	イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。 ※5、000人かつ収容率50％超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。 ※下記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。
----------------------	---

④来場者間の密集回避	☒	入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。
	☒	休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。 ※入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じ収容人数を制限する等、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保する。
	☒	大声を伴わない場合には、「人と人とが触れ合わない程度の間隔」、大声を伴う可能性のあるイベントは、「前後左右の座席との身体的距離の確保」 ※「大声あり」の場合、座席間は1席（立席の場合できるだけ2 m、最低1 m）空けること。
⑤飲食の制限	☒	飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
	☒	食事中以外のマスク着用の推奨。
	☒	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染リスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。 ※発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。
	☒	自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）。

感染防止策チェックリスト

基本的な 感染防止	イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。 ※5、000人かつ収容率50％超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。 ※下記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。
----------------------	---

⑥出演者等の感染対策	☒	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）やスタッフ等の健康管理を徹底する。 ※体調が悪いときは医療機関等に適切に相談。
	☒	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 ※練習時等であっても、適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフ等の関係者間の適切な距離確保、換気、必要に応じた検査等の対策が必要。
	☒	出演者（演者・選手等）やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）
⑦参加者の把握・管理等	☒	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。 ※接触確認アプリ（C O C O A）や各地域の通知サービス（BluetoothやQRコードを用いたもの等）を活用。 ※原則、参加者全員に対してアプリダウンロードまたは、氏名・連絡先の把握を徹底。
	☒	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。 ※チケット販売時に、有症状の場合は早めに連絡・キャンセルすることを周知すること。
	☒	時差入退場の実施等イベント前後の感染防止の注意喚起。